

エコアクション21 環境経営レポート

【 2024年度 第44期 】



理化学研究所「仁科蔵王」

対象期間:2024年1月1日～2024年12月31日

発行日 2025年 3月 28日

ガーディアンジャパン株式会社

目 次

1. 組織の概要		P 1
2. 環境経営方針		P 2
3. 実施体制		P 3
4. 環境経営目標		P 4
5. 環境経営目標の実績		P 5～11
6. 環境経営活動計画と評価及び次年度の取組内容		P 12 ～14
7. 環境関連法規の遵守状況		P 15
8. 次年度の活動目標		P 16
9. 代表者による全体の取組評価と見直し・指示		P 17

1. 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

【事業所名】 ガーディアンジャパン株式会社

HP : <https://gardienjp.com>

【代表者名】 代表取締役社長 小松 正幸

2. 所在地

名 称	所 在 地	延床面積	認証登録
[本社]・東京サービスセンター	東京都練馬区高野台2丁目4番3号	248.50㎡	登録対象組織
技術センター	東京都練馬区高野台2丁目27番7号101	150㎡	登録対象組織
岩手サービスセンター	岩手県一関市藤沢町砂子田字高田109	125.07㎡	登録対象組織
恵那サービスセンター	岐阜県恵那市	-----	非登録組織
つくばサービスセンター	茨城県石岡市	-----	非登録組織

認証組織延床面積 : 523.57㎡

※ 上記のうち[本社]は登記簿上の本社であり、本社機能は技術センターとなります。

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

・環境最高責任者 代表取締役社長 小松 正幸

・環境管理責任者 品質管理室 : 清水 忠夫

連絡先: TEL: 03-3904-6230 FAX: 03-3904-6249

E-mail: pwb.contact@gadienjp.com

4. 法人設立年月日 1981(昭和56)年 11月 27日

5. 事業年度 1月1日 ~ 12月31日

6. 資本金 7,400万円

7. 事業内容 プリント基板検査サービス(検査データ作成及び治具作製を含む)
(対象事業活動) 及び検査設備販売保守、ソフトウェアの販売保守

8. 事業規模

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	万円	77,200	61,100	57,400
従業員数	人	54	47	39
床面積	㎡	891.77	523.57	523.57

従業員数 39 名 (2025年1月5日現在)
(役員・契約・パート・派遣を含む)

9. 事業組織

認証・登録対象組織

東京サービスセンター	10 名
技術センター	9 名
岩手サービスセンター	5 名

(登録認証範囲 24 名)

非登録組織

恵那サービスセンター	11 名
つくばサービスセンター	5 名

注: 非登録の組織は、得意先に出向し常駐、同工場はISO14001を取得しており、その指揮下で活動の為、EA21登録範囲から除く。

2. 環境経営方針

<< 基本理念 >>

ガーディアンジャパン株式会社は、社会生活の利便性を向上させる電子機器の一翼を担うプリント配線基板業界への製造設備・治工具の販売、検査サービスの提供を通じ、自然・生命・社会と共存できる環境調和の企業活動を推進し、環境の保全と環境経営の継続的な向上を図るよう行動いたします。

<< 環境経営方針 >>

当社は、基本理念に基づき、以下の行動指針を定め、継続的な環境経営に努めます。

1. 環境負荷の低減を継続的にを行い、環境汚染の防止に努めます。
2. 環境に関する法令・規則・協定及びその他の合意事項を遵守致します。
3. 環境や資源に配慮した製品や原材料調達を心がけます。
4. 経営における課題とチャンス را考慮して環境経営目標を定め、それに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境経営の継続的な改善を行います。
5. 本方針は、組織に関わる全員に周知徹底いたします。

<< 具体的な取り組み >>

- ・ 電力・自動車燃料の消費に伴うCO2排出量の削減。
- ・ 資源ゴミの分別とリサイクルの促進により、廃棄物の低減と適正処理に努めます。
- ・ ペーパーレスの推進。
- ・ 水資源の節水。
- ・ 環境に配慮した、備品及び資材の購入(グリーン購入)と使用を促進する。
- ・ 化学物質の管理に関する要求には充分取り組む。(SDS等)

制定日: 2010年10月21日

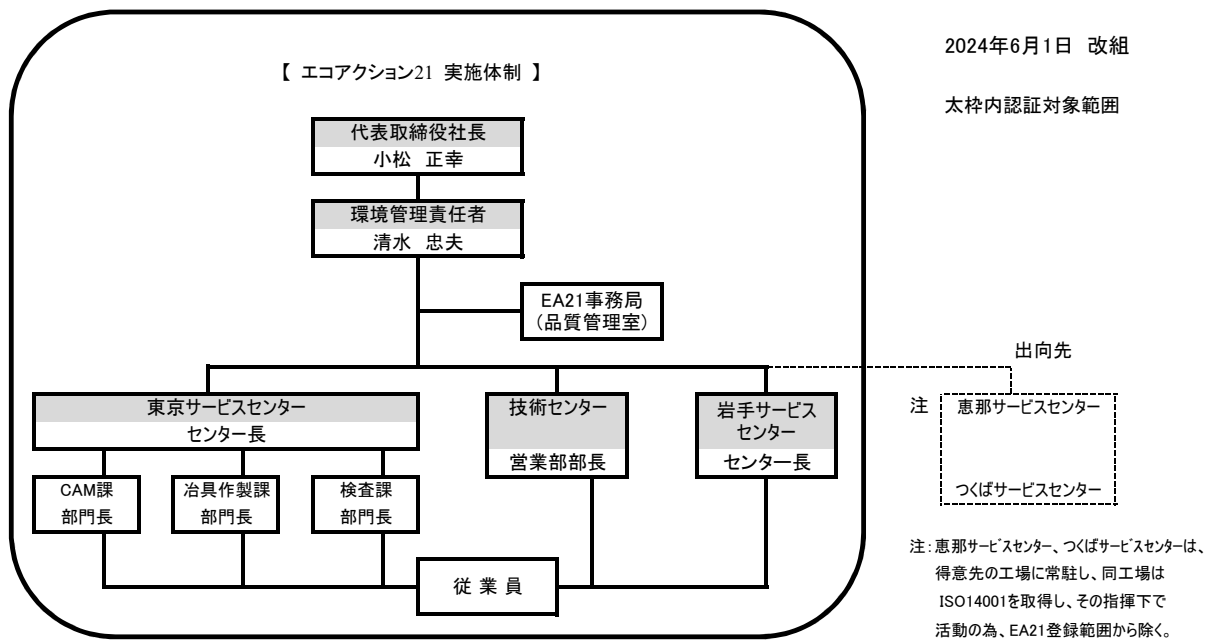
改定日: 2024年5月14日

ガーディアンジャパン株式会社

代表取締役社長

小松 正幸

3. 実施体制



<関係者の権限と役割>

代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営システムの実施に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者を任命する ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の構築及び承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・取組対象の組織・活動の明確化 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標及び環境経営計画の達成状況・実施状況の確認と評価 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題発生・緊急事態発生時の是正処置、再発防止
EA21事務局 (品質管理室)	・実績の集計及び評価用資料の作成 ・環境経営レポートの作成及び公開(地域事務局への送付 及び HPでの公開) ・EA21文書類の保管・維持管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
グループリーダー (部門長)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する ・EA21 について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・環境活動の提案

4. 環境経営目標【全社】

中期環境経営目標

作成：2023年2月18日
改訂：2024年5月28日

2019～2022年度までの実績を踏まえ、2023～2026年度の数値目標を設定した。

- ※ 前中期：2019年～2022年度がコロナ渦を含む期間で有ったことから期間中の実績を基に平均値を本中期経営目標の基準値(BM)とし、4年間で3～5%を削減させる事を目標と定めた。
- ※ 2023年8月末に新潟サービスセンターを閉鎖した事により2024年度の電力使用量目標値を基準値比97.5%より75%とし、二酸化炭素の排出量も改める。また、紙の使用量は昨年度の新潟サービスセンターの実績相当を減らして新たな目標値とする。
- ※ 基準値(BM)の購入電力の排出係数(調整前)は、東京電力エナジーパートナーと東北電力の使用量に基づく2022年度平均値【0.4686kg-CO₂/kWh】を2026年度まで使用する。ガソリンの排出係数は、【2.32kg-CO₂/L】とする。
- ※ 2024年より追加：総排水量は、主に生活用水で上水使用量がそのまま下水道へ排水されるものとして対応します。また、2023年度の実績(新潟サービスセンターの実績除外)を基準値(BM)として2024年度より本社・東京SC、技術センターで削減目標を設定、岩手SCは維持とし監視する。
- ※ 一般廃棄物は2023年度実績(新潟サービスセンターの実績除外)を基準値(BM)に2024年度より削減目標を定め監視する。

中期環境経営目標＜年度目標＞（2023年度～2026年度4カ年）

環境活動目標項目	単位	中長期の環境経営目標 (2026年まで)	基準	中期年度目標			
			2022年 基準値(BM)	2023年 目標	2024年 目標	2025年 目標	2026年 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂		172,204	169,557	130,364	128,629	126,893
		年度目標 % 基準比	100	98.75	76	75	74
	電力使用量の削減		356,000	350,500	267,000	263,440	259,880
		年度目標 % 基準比	100	98.75	75	74	73
一 般 廃 棄 物 の 減 量	kg		2,320	2,291	2,262	2,233	2,204
		年度目標 % 基準比	100	98.75	97.5	96.25	95
	可燃物		2023年度実績を基準値とする	608	602	596	590
		年度目標 % 基準比		100	99	98	97
産 業 廃 棄 物 の 減 量	kg		2023年度実績を基準値とする	172	170	168	166
		年度目標 % 基準比		100	99	98	97
	排出 6tを維持		6	6	6	6	6
		年度目標 % 基準比	100	100	100	100	100
総排水量 (水使用量)の削減	m ³		298	298	295	292	289
		年度目標 % 基準比	100	100	99	98	97
	紙の消費 (コピー用紙購入量削減)		52,000	51,500	48,500	47,800	47,300
		年度目標 % 基準比	100	99	93	92	91
グリーン購入の促進	推進実施(努力目標、目標値設定せず)			エコ商品購入に努める	エコ商品購入に努める	エコ商品購入に努める	エコ商品購入に努める

総排水量 (水使用量)の削減	東京SC	組織目標 222m ³ /年	12名	年間 18.5m ³ /人
	技術センター	組織目標 62m ³ /年	9名	年間 6.89m ³ /人
組織別	岩手SC	維持目標 11m ³ /年	5名	年間 2.22m ³ /人

2024年
単年度目標

■ 東京SC及び岩手SCに於いて、ISO9001:2015と連動し、すべての穴明用、検査用設備に関して、日々点検を行う。	(点検表、On Trackにて確認)
■ 東京SC、岩手SCに於いて、フロン排出抑制法に伴う業務用空調機の簡易点検（四半期に1回以上、年4回以上実施）	2024年は、 3月、6月、9月、12月 実施
■ 東京SC、岩手SCに於いて、フロン排出抑制法に伴う圧縮機（コンプレッサー）の簡易点検（四半期に1回以上、年4回以上実施）	2024年は、 3月、6月、9月、12月 実施

- ※当社ではPRTR法で規定する化学物質の使用実態はないので、化学物質の削減目標は設定せず、監視のみとする。
- ※今期は中期計画4か年の2年目として活動を実施しております。

注：6月1日付で組織間の人事異動が実施された為、水使用量の組織及び人の目標値を改訂する。

注：グリーン購入については、数値目標は挙げず年度予算を考慮し、一般商品とエコマーク商品の購入価格を比べてプラス10%以内の差で有る場合は購入とする。

5. 環境経営目標の実績・評価【全社】

5-1 取組目標の実績（単年度）

中期計画2年目 2024年1月1日 ～ 2024年12月31日 における目標と実績は次の通りで有る。

2024年
単年度目標

環境活動目標項目	単位	2022年度 基準年	2024年度 目標	1月～6月 実績	7月～12月 実績	2024年度 目標比率 実績	評価	次年度目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	172,204	-24.00%	44%	54%	97%	○	-25%
			130,364	56,962	69,920	126,883	○	128,629
電力消費量の削減	kWh	356,000	-25.00%	44%	54%	98%	○	-26%
			267,000	117,475	144,900	262,375	○	263,440
ガソリン消費量の削減	L	2,320	-2.50%	36%	38%	75%	○	-3.75%
			2,262	825	871	1,696	○	2,233
一般廃棄物削減物廃棄量	kg	608	-1.00%	38%	31%	69%	○	-2.00%
			602	231.4	185.0	416	○	596
可燃物	kg	172	-1.00%	92%	89%	182%	×	-2.00%
不燃(廃プラ)	kg		170	157.0	152.0	309	×	168
産業廃棄物廃棄量の削減	t	6	100%	0%	0%	0%	○	100%
※現状維持に努める			6.0	0.0	0.0	0.0	○	6.0
水使用量(総排水量)の削減	m ³	298	-1%	44%	47%	91%	○	-2%
※2023年実績を基準とする			295	130.0	138.0	268	○	292.0
紙の消費量 (コピー用紙購入量)の削減	枚	52,000	-7%	31%	26%	57%	○	-8%
			48,500	15,000	12,500	27,500	○	47,800
グリーン購入（事務用品）	推進実施 (目標値設定なし)		優先 購入	優先購入実施		—	○	優先購入

判定基準：○ 目標値達成 × 目標値未達成

※ CO2排出係数は東京電力エナジーパートナー と 東北電力 の使用量に基づく2022年度平均値

【 0.4686kg-CO₂/kWh 】を2026年度まで使用する。 ガソリンの排出係数は、【 2.32kg-CO₂/L 】とする。

水使用量 (総排水量)の削減	東京SC	組織目標 222m ³ /年	205.0	年間 18.5m ³ /人	17.1
	技術センター	組織目標 62m ³ /年	55.0	年間 6.89m ³ /人	6.1
組織別	岩手SC	維持目標 11m ³ /年	8.0	年間 2.22m ³ /人	1.6

項 目	取 組	1月～6月	7月～12月	評 価	
穴明用、検査用設備の日々点検実施	稼働前始業点検	○	○	○	点検表で確認
業務用空調機の簡易点検 【フロン排出抑制法】	3カ月毎に簡易点検を実施	3、6月 ○	9、12月 ○	○	点検表で確認
圧縮機(コンプレッサ)の簡易点検 【フロン排出抑制法】	3カ月毎に簡易点検を実施	3、6月 ○	9、12月 ○	○	点検表で確認

5-1. 環境経営計画の取組結果の評価【事業所】

2024年度 削減目標と取組結果

取組評価: ◎ = 達成(ー10%以上) ○ = できた(ー10%未満~0%) △ = 未達(0% ~+10%未満) × 未達成(+10%以上)

区分・環境目標		単位	東京サービスセンター			技術センター			岩手サービスセンター			全 社		
			目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	94,093	91,665	○	11,224	9,290	◎	25,047	25,928	△	130,364	126,883	○
電 力	電力使用量の削減	kwh	200,797	195,614	○	13,664	12,683	○	52,539	54,078	△	267,000	262,375	○
	CO2排出量	kg-CO2	94,093	91,665	○	6,403	5,943	○	24,620	25,341	△	125,116	122,949	○
ガソリン	ガソリン使用量の削減	L				2,078	1,443	◎	185	253	×	2,263	1,696	◎
	CO2排出量	kg-CO2				4,821	3,347	◎	427	587	×	5,248	3,934	◎

※ CO2排出係数は、東京電力エナジーパートナーと 東北電力 の使用量に基づく2022年度平均値【 0.4686kg-CO2/kWh 】とする。

ガソリンの排出係数は、【 2.32kg-CO2/L 】とする。

電力使用量は、東京サービスセンターは設備稼働率低下で減少した半面、夏場の酷暑によりエアコンの電力使用量が増し、目標未達、目標から2.58%の削減に留まった。技術センターでは7.18%削減で達成。岩手サービスセンターは設備稼働が増えて2.93%増、全体では1.73%削減で目標達成と成った。

ガソリン使用量: 東京は、社用車1台を2023年12月入替した事での燃費改善と、営業部の遠方顧客訪問を公共交通機関に切替えた事で目標より30.58%の削減と成りました。 岩手サービスセンターはガソリン車で、配送品の営業所受渡しや顧客デリバリーが増えた事でサイト単独で目標値より36.76%増加と成り未達成。全体の二酸化炭素総排出量は3.36%削減で目標達成と成った。

区分・環境目標		単位	東京サービスセンター			技術センター			岩手サービスセンター			全 社		
			目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況
水・排水	上水使用量の削減	m	222	205	○	62	55	◎	11	8	◎	295	268	○
	人数辺り		18.50	17.08	○	6.89	6.11	○	2.20	1.60	◎			
	人数	人	12			9			5					
紙使用量	紙(コピー用紙)購入量削減	枚	16,167	5,000	◎	24,250	10,000	◎	8,083	12,500	×	48,500	27,500	◎

上水の使用量は、東京SCで目標値より 7.66%削減、技術センターは 11.29%の削減、また、岩手SCは維持目標より 27.27%削減、 全体ではマイナス9.15%で取組達成と成りました。

一人当たりの水使用量は全サイトで削減と成り達成したが、期中に東京SCと技術センターに於いて人事異動や退職に伴う増減が発生した為曖昧な数値と成っています。

紙(コピー用紙)使用量は電子媒体利用でペーパーレス化が進んだ、および、受注が戻らず使用が減り削減出来たサイトと、顧客要望で紙による提出物が増えた事で使用が増えたサイトに2分されたが全体では目標値から43.30%削減で達成と成りました。

区分・環境目標		単位	東京サービスセンター			技術センター			岩手サービスセンター			全 社		
			目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況	目標値	実績	状況
産業廃棄物	産業廃棄物量	t	☆ 6	0	○							☆ 6	0	◎
一般廃棄物	廃棄物(可燃)排出量削減	kg	201	207	△	183	179.4	○	218	30	◎	602	416.4	◎
	廃棄物(不燃)排出量削減		106	192	×	60	113	×	4	4	◎	170	309	×
	再資源化量		---	64		---	50		---	4		---	118	

数値の前の☆の個所は、維持管理目標

※ 一般廃棄物は今年より削減目標を定めて取組

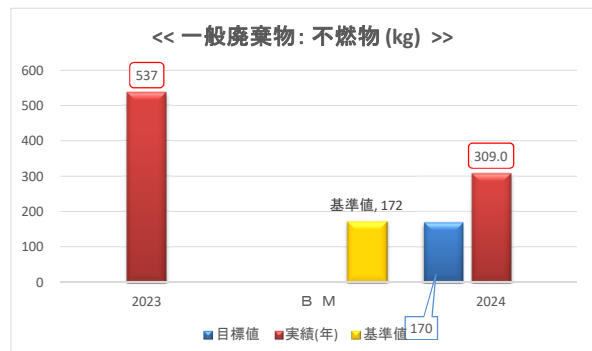
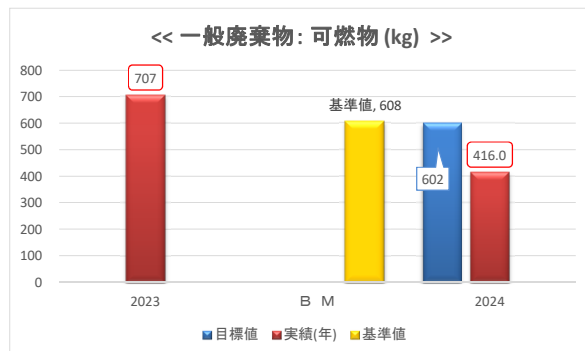
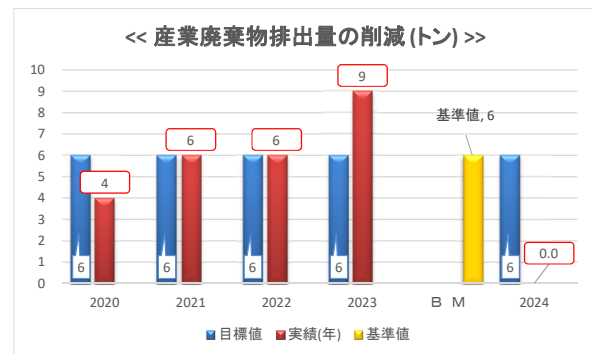
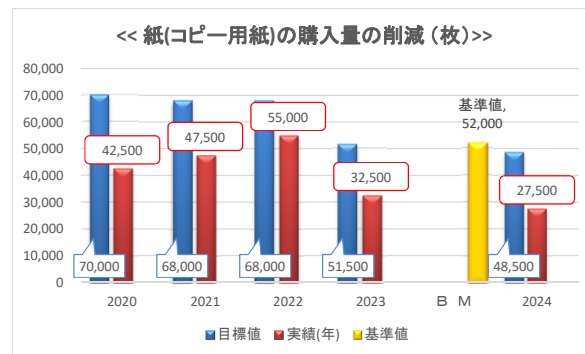
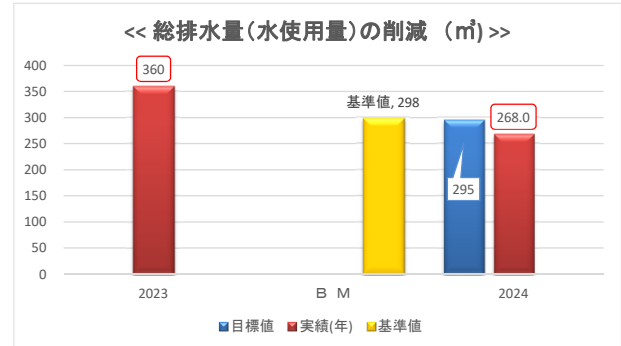
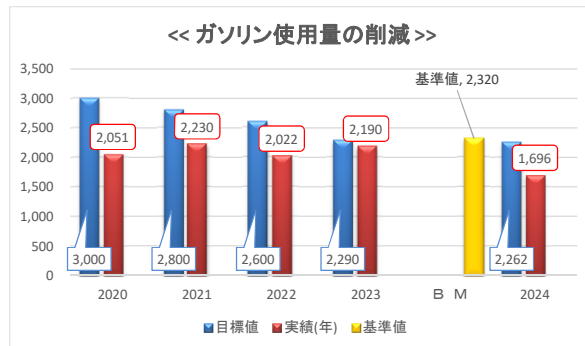
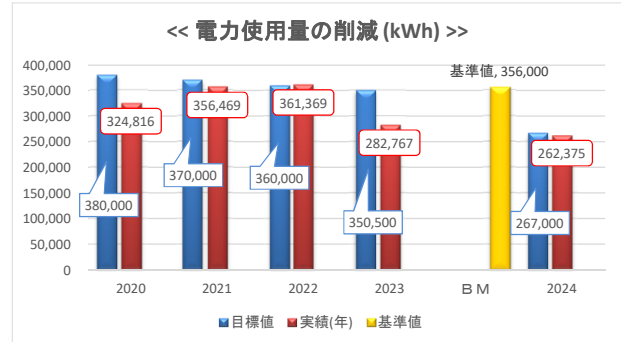
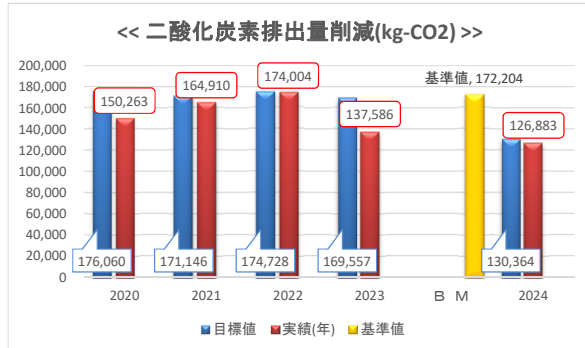
治具作製の受注が昨年に引き続き低調で廃材等の発生量が少なく、また、分別を徹底した事で混合廃棄物が減り年間を通じて産業廃棄物での排出委託は発生しなかったが、分別を行った事で一般廃棄物での排出が増えた事が要因で東京SC と 技術センター の不燃廃棄物の目標は達成成らず。一過性のため次年度目標は変更せず継続とする。

2024年3月より取組開始の【エコキャップ回収運動】は継続とする

5-3. 環境経営計画の取組結果の評価

環境負荷実績の推移（過去5期分）

※ 2023年度までの目標値/実績には2023年8月末に閉鎖の新潟サービスセンター分を含む



5-3. 環境経営計画の取組結果の評価（事業所別）-1-1

<< 二酸化炭素排出量削減 >>

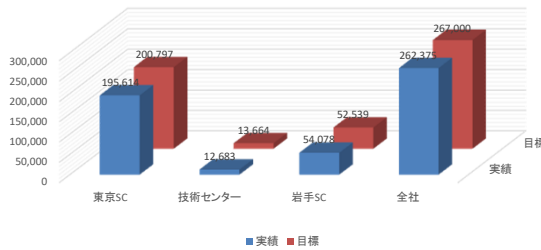
評価: ◎ = 達成(-10%以上) ○ = できた(-10%未満~0%) △ = 未達(0% ~+10%未満) × 未達成(+10%以上)

■ 2024年度 サイト別電気使用量

単位 kWh

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実績	目標	評価
東京SC	11,075	15,024	12,246	14,183	13,633	18,320	21,079	23,724	21,502	19,564	13,470	11,794	195,614	200,797	○
技術センター	1,107	1,683	1,250	1,158	728	713	961	1,270	1,058	933	760	1,062	12,683	13,664	○
岩手SC	5,427	5,167	4,991	4,113	3,378	3,279	4,277	4,347	4,347	5,440	4,990	4,322	54,078	52,539	△
全社	17,609	21,874	18,487	19,454	17,739	22,312	26,317	29,341	26,907	25,937	19,220	17,178	262,375	267,000	○
月間目標	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	22,250	達成 7ヵ月	未達 5ヵ月	

2024年度 電力使用量



東京SCは2024年度目標に対して、2.58%DOWN で達成！

200,797 kWh ⇒ 195,614 kWh

技術センターは2024年度目標に対して、7.18% DOWN で達成！

13,664 kWh ⇒ 12,683 kWh

岩手SCは2024年度目標に対して、2.93% UP で未達

52,539 kWh ⇒ 54,078 kWh

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、1.73% DOWN で達成！

267,000 kWh ⇒ 262,375 kWh

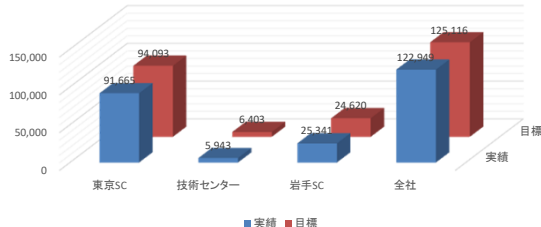
■ サイト別 電気使用量の二酸化炭素排出実績

排出係数 0.4686

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実績	目標	評価
東京SC	5,189.7	7,040.2	5,738.5	6,646.2	6,388.4	8,584.8	9,877.6	11,117.1	10,075.8	9,167.7	6,312.0	5,526.7	91,665	94,093	○
技術センター	518.7	788.7	585.8	542.6	341.1	334.1	450.3	595.1	495.8	437.2	356.1	497.7	5,943	6,403	○
岩手SC	2,543.1	2,421.3	2,338.8	1,927.4	1,582.9	1,536.5	2,004.2	2,037.0	2,037.0	2,549.2	2,338.3	2,025.3	25,341	24,620	△
全社	8,251.6	10,250.2	8,663.0	9,116.1	8,312.5	10,455.4	12,332.1	13,749.2	12,608.6	12,154.1	9,006.5	8,049.6	122,949	125,116	○
月間目標	10,426	10,426	10,426	10,427	10,426	10,427	10,426	10,426	10,427	10,427	10,426	10,426	達成 7ヵ月	未達 5ヵ月	

※ CO2排出係数は実排出係数(調整前)とし、東京電力エナジーパートナーと東北電力の使用量に基づく2022年度平均値【0.4686kg-CO2/kWh】を使用します。

2024年度 電力使用量からのCO2排出量



東京SCは2024年度目標に対して、2.58%DOWN で達成！

94,093 kg-CO2 ⇒ 91,665 kg-CO2

技術センターは2024年度目標に対して、7.18% DOWN で達成！

6,403 kg-CO2 ⇒ 5,943 kg-CO2

岩手SCは2024年度目標に対して、2.93% UP で未達

24,620 kg-CO2 ⇒ 25,341 kg-CO2

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、1.73% DOWN で達成！

125,116 kg-CO2 ⇒ 122,949 kg-CO2

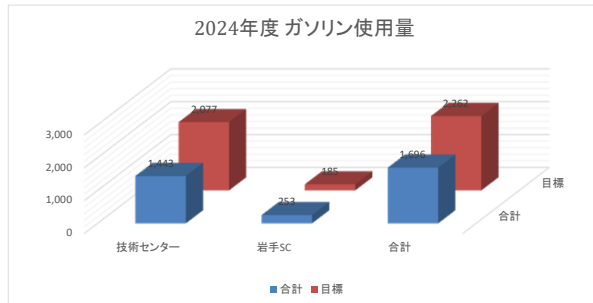
5-3. 環境経営計画の取組結果の評価（事業所別）-1-2

評価: ◎ = 達成(ー10%以上) ○ = できた(ー10%未満~0%) △ = 未達(0% ~+10%未満) × 未達成(+10%以上)

■ 2024年度 サイト別ガソリン使用量

単位 ℓ

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	目標	評価
技術センター	79.39	117.22	104.52	176.87	102.92	95.88	120.37	101.41	80.55	165.15	105.24	193.01	1,443	2,077	◎
岩手SC	38	0	38	36	0	36	0	37	0	32	0	36	253	185	×
合計	117.39	117.22	142.52	212.87	102.92	131.88	120.37	138.41	80.55	197.15	105.24	229.01	1,696	2,262	◎
月間目標	188	188	188	189	188	189	189	188	188	189	189	189	達成 9ヵ月	未達 3ヵ月	



技術センターは2024年度目標に対して、30.55% DOWN で達成！

2,077 ℓ ⇒ 1,443 ℓ

岩手SCは2024年度目標に対して、36.76% UP で未達成

185 ℓ ⇒ 253 ℓ

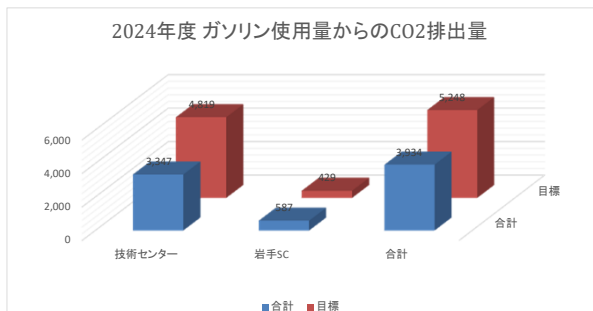
全社の取組結果は、2024年度目標に対して、25.04% DOWN で達成！

2,262 ℓ ⇒ 1,696 ℓ

■ サイト別 ガソリンのCO₂ 排出実績

排出係数: 2.32kg-CO₂/L

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	目標	評価
技術センター	184.18	271.95	242.49	410.34	238.77	222.44	279.26	235.27	186.88	383.15	244.16	447.78	3,347	4,819	◎
岩手SC	88.16	0.00	88.16	83.52	0.00	83.52	0.00	85.84	0.00	74.24	0.00	83.52	587	429	×
合計	272.34	271.95	330.65	493.86	238.77	305.96	279.26	321.11	186.88	457.39	244.16	531.30	3,934	5,248	○
月間目標	437	437	437	438	437	438	437	437	437	438	437	438	達成 8ヵ月	未達 4ヵ月	



技術センターは2024年度目標に対して、30.55% DOWN で達成！

4,819 kg-CO₂ ⇒ 3,347 kg-CO₂

岩手SCは2024年度目標に対して、36.76% UP で未達成

429 kg-CO₂ ⇒ 587 kg-CO₂

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、25.04% DOWN で達成！

5,248 kg-CO₂ ⇒ 3,934 kg-CO₂

5-3. 環境経営計画の取組結果の評価（事業所別）-2-1

評価: ◎ = 達成(-10%以上) ○ = できた(-10%未満~0%) △ = 未達(0% ~+10%未満) × = 未達成(+10%以上)

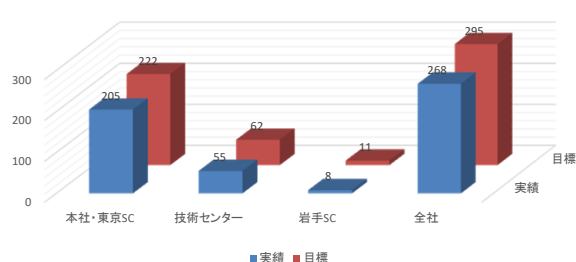
■ サイト別水使用量の削減

単位 m³

岩手SCは維持目標

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実績	目標	評価
本社・東京SC	0.0	31.0	0.0	32.0	0.0	36.0	0.0	34.0	0.0	34.0	0.0	38.0	205	222	○
技術センター	0.0	9.0	0.0	9.0	0.0	9.0	0.0	10.0	0.0	8.0	0.0	10.0	55	62	◎
岩手SC	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	8	11	◎
全社	0.0	41.0	1.0	41.0	1.0	46.0	1.0	44.0	1.0	43.0	0.0	49.0	268	295	○

2024年度 水使用量



東京SCは2024年度目標に対して、7.66%DOWN で達成！

222 m³ ⇒ 205 m³

技術センターは2024年度目標に対して、11.29%DOWN で達成！

62 m³ ⇒ 55 m³

岩手SCは維持目標に対して、27.27%DOWN で達成！

11 m³ ⇒ 8 m³

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、9.15%DOWNで達成！

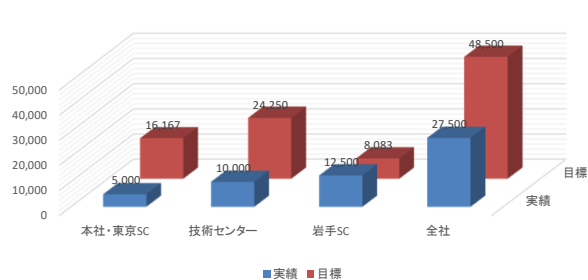
295 m³ ⇒ 268 m³

■ サイト別コピー用紙の使用量削減

単位 枚

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実績	目標	評価
本社・東京SC	0	0	0	0	5000	0	0	0	0	0	0	0	5,000	16,167	◎
技術センター	0	0	0	0	5000	0	0	0	0	5000	0	0	10,000	24,250	◎
岩手SC	5000	0	0	0	0	0	5000	0	2500	0	0	0	12,500	8,083	×
全社	5000	0	0	0	10000	0	5000	0	2500	5000	0	0	27,500	48,500	◎

2024年度 コピー用紙購入量削減



東京SCは2024年度目標に対して、69.07%DOWN で達成！

16,167 枚 ⇒ 5,000 枚

技術センターは2024年度目標に対して、58.76%DOWN で達成！

24,250 枚 ⇒ 10,000 枚

岩手SCは2024年度目標に対して、54.65%UP で未達成

8,083 枚 ⇒ 12,500 枚

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、43.30%DOWN で達成！

48,500 枚 ⇒ 27,500 枚

5-3. 環境経営計画の取組結果の評価（事業所別）-2 -2

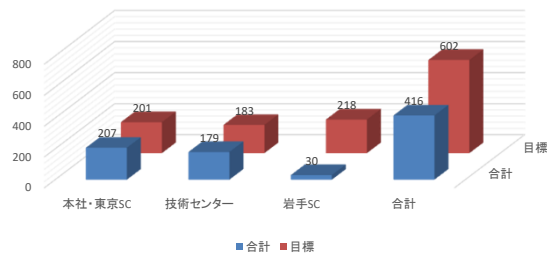
評価: ◎ = 達成(−10%以上) ○ = できた(−10%未満〜0%) △ = 未達(0%〜+10%未満) × 未達成(+10%以上)

■ サイト別 一般廃棄物(可燃物)排出量削減

単位 kg

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	目標	評価
本社・東京SC	20	16	16	18	13	26	20	15	17	13	18	15	207	201	△
技術センター	22	16	18.4	12	9	15	12	11	18	13	15	18	179	183	○
岩手SC	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30	218	◎
合計	42	32	34.4	30	22	71	32	26	35	26	33	33	416	602	◎

2024年度 一般廃棄物(可燃物)排出量削減



東京SCは2024年度目標に対して、2.99%増加で未達

201 kg ⇒ 207 kg

技術センターは2024年度目標に対して、1.97% DOWNで達成！

183 kg ⇒ 179 kg

岩手SCは2024年度目標に対して、86.24% DOWNで達成！

218 kg ⇒ 30 kg

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、30.83% DOWNで達成！

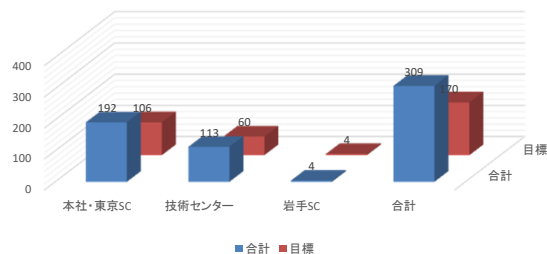
602 kg ⇒ 416 kg

■ サイト別 一般廃棄物(不燃物)排出量削減

単位 kg

サイト	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	目標	評価
本社・東京SC	14.0	13.0	16.0	14.0	33.0	17.0	17.0	18.0	12.0	10.0	16.0	12.0	192	106	×
技術センター	7.0	8.0	7.0	8.0	7.0	9.0	13.0	11.0	8.0	10.0	14.0	11.0	113	60	×
岩手SC	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	4	○
合計	21.0	21.0	23.0	22.0	40.0	30.0	30.0	29.0	20.0	20.0	30.0	23.0	309	170	×

2024年度 一般廃棄物(不燃物)排出量削減



東京SCは2024年度目標に対して、81.13%増加となり未達成

106 kg ⇒ 192 kg

技術センターは2024年度目標に対して、88.33%増加となり未達成

60 kg ⇒ 113 kg

岩手SCは2024年度目標と同量で達成！

4 kg ⇒ 4 kg

全社の取組結果は、2024年度目標に対して、81.76%増加で未達成

170 kg ⇒ 309 kg

6-1. 環境経営活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:2024年1月～2024年12月)

部署名: 東京サービスセンター

取組評価基準: ○ できた △ 一部できた × できなかった 空白は該当なし

環境方針	目標課題	具体的な行動	責任者	評価		コメント	継続/見直
				6月	12月		
二酸化炭素排出量削減	1-1. 電力消費量の削減	・エアコン温度の適正管理(夏季28℃、冬季20℃に設定) (但し設備稼働に影響の及ばない範囲で)	センター長	△	△	・検査室は年間と通して20℃で設定 ・2Fは酷暑に於いて建物の構造上熱が籠る為24℃で使用 ・昼休み・不在時の消灯、不要機器の停止は部署でまちまちで有った	継続
		・クールビズ、ウォームビズの実施で冷暖房の節減	センター長	○	○		継続
		・空調フィルターの定期清掃(3カ月毎 4回/年)	センター長	○	○		継続
		・昼休み、不在時の消灯	センター長	△	△		継続
		・不要電力消費抑制(パソコン、機械を止めるなど)	センター長	△	△		継続
		・スマートメーター[ERIA]を使用し、ピーク電力管理	センター長	△	△		継続
	1-2. ガソリン使用量の削減	・省エネドライブ、不必要なアイドリングの禁止				東京サービスセンター で管理の車両は無いため除外	
		・急発進・急加速の禁止					
		・車両の燃費管理					
		・タイヤ空気圧管理(給油時に点検)					
		・車両点検の実施					
		・移動に際し、可能な場合は公共交通機関を利用する					
廃棄物排出量の削減	2-1. 一般廃棄物の削減	・分別ルールの掲示と周知・実践・置場の整理整頓	センター長	△	△	整理整頓は偶にやる程度で部門間輪番の監視が必要	継続
		・ペットボトル、事務用紙のリサイクル化徹底	センター長	△	△		継続
		・段ボール箱、緩衝材の再利用	センター長	△	△		継続
		□契約書、委託事業者の確認	EA21事務	○	○		継続
	2-2. 産業廃棄物の削減	・廃棄物保管場所の点検	センター長	○	○	分別、保管に問題無し	継続
		・産業廃棄物の分別保管	センター長	○	○		継続
		・個人的なゴミは持ち込まない様に徹底する	センター長	○	○		継続
		□産廃マニフェストを適正に管理	EA21事務				継続
	2-3. リサイクルの推進	□契約書、委託事業者の確認	EA21事務	○	○	2024年度の排出なし	継続
		・分別を徹底してリサイクル率を向上する	センター長	△	△		継続
水の削減	3. 水使用量の削減	・分別を徹底してリサイクル率を向上する	センター長	△	△	分別廃棄を徹底した事で産廃が減り一般廃棄物が増える結果に成った	継続
		・エコキャップ運動	センター長	△	△		継続
	4. コピー用紙使用量削減	・節水活動の遂行(節水を促す表示の取付け)	センター長	○	○	主にトイレに因る使用量の増減であるがパートさんが辞めた事で使用量は減った	継続
		・水を出しっぱなしにしない	センター長	○	○		継続
		・検針表による使用量の把握	センター長	○	○		継続
	5. グリーンの推進	・裏紙利用、両面コピー、縮小印刷等	センター長	△	△	・消耗品購入は管理部へ依頼 ・新規の調達は無し	継続
		・会議資料等のペーパーレス化で印刷物の削減	センター長	○	○		継続
		・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する	センター長	○	○		継続
		・FAXの選択印刷等	センター長	○	○		継続
改排正出プ抑制	6. 空調機の簡易点検	・環境にやさしい商品の選別購入	センター長	△	△	・消耗品購入は管理部へ依頼 ・新規の調達は無し	継続
		・設備・機器・車両購入時の環境影響評価					継続
	7. 勉強会	改正フロン排出抑制法に基づき3カ月に1回の簡易点検を実施する	治具作製課	○	○	8月推進会議でEA21とSDGsの関連性について	継続
			検査課	○	○		継続
		圧縮機の簡易点検	治具作製課	○	○		継続
			検査課	○	○		継続
環境維持	3Sの徹底	環境・品質・生産性向上(ISO推進会議内で実施 年1回以上)一般的な環境に対する自覚向上を目指す	センター長		○	点検実施	継続
		各職場毎に整理・整頓・清掃を徹底する	部門長	△	△		継続

※クールビズは毎年5月1日から9月30日まで実施、冬場は重ね着(ウォームビズ)で対応

※活動計画の見直しは、2024年度(令和6年1月～令和6年12月まで)が終了した時点で行う事とする。

6-2. 環境経営活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:2024年1月～2024年12月)

部署名: 岩手サービスセンター

取組評価基準: ○ できた △ 一部できた × できなかった

環境方針	目標課題	具体的な行動	責任者	評価		コメント	継続/見直
				6月	12月		
二酸化炭素排出量削減	1-1. 電力消費量の削減	・エアコン温度の適正管理(夏季28℃、冬季20℃に設定) (但し設備稼働に影響の及ばない範囲で)	センター長	△	△	設備稼働環境温度25度±2で室内温度を調整。消費電力を意識し活動をしている。	継続
		・クールビズ、ウォームビズの実施で冷暖房の節減	センター長	○	○		継続
		・空調フィルターの定期清掃(3カ月毎 4回/年)	センター長	○	○		継続
		・昼休み、不在時の消灯	センター長	○	○		継続
		・不要電力消費抑制(パソコン、機械を止めるなど)	センター長	○	○		継続
	1-2. ガソリン使用量の削減	・省エネドライブ、不必要なアイドリングの禁止	センター長	○	○	エコドライブを実施し、ガソリン消費量を意識し活動している。	継続
		・急発進・急加速の禁止	センター長	○	○		継続
		・車両の燃費管理	センター長	○	○		継続
		・タイヤ空気圧管理(給油時に点検)	センター長	○	○		継続
		・車両点検の実施	センター長	○	○		継続
		・移動に際し、可能な場合は公共交通機関を利用する	センター長	○	○		継続
廃棄物排出量の削減	2-1. 一般廃棄物の削減	・分別ルールの掲示と周知・実践・置場の整理整頓	センター長	○	○	ゴミは分別され、リサイクル活動を行っている。	継続
		・ペットボトル、事務用紙のリサイクル化徹底	センター長	○	○		継続
		・段ボール箱、緩衝材の再利用	センター長	○	○		継続
	2-2. 産業廃棄物の削減	・廃棄物保管場所の点検				条例に従い一関広域行政組合へ廃棄物処理委託	
		・産業廃棄物の分別保管					
		・個人的なゴミは持ち込まない様に徹底する					
		□産廃マニフェストを適正に管理					
	2-3. リサイクルの推進	・分別を徹底してリサイクル率を向上する	センター長	○	○	ゴミは分別され、リサイクル活動を行っている。	継続
		・エコキャップ運動	センター長	○	○		継続
水の削減	3. 水使用量の削減	・節水活動の遂行(節水を促す表示の取付け)	センター長	○	○	掲示され、節水を意識されている。	継続
		・水を出しっぱなしにしない	センター長	○	○		継続
		・検針表による使用量の把握	センター長	○	○		継続
紙使用量の削減	4. コピー用紙使用量削減	・裏紙利用、両面コピー、縮小印刷等	センター長	○	○	両面印刷、ファイル化を行い印刷物の少量を意識している。	継続
		・会議資料等のペーパーレス化で印刷物の削減	センター長	○	○		継続
		・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する	センター長	○	○		継続
		・FAXの選択印刷等	センター長	○	○		継続
グリーンの推進	5. 環境にやさしい商品の選別購入	・エコマーク商品、FSC認証品の優先的な購入	センター長	○	○	グリーン調達仕様書に準じている。	継続
		・設備・機器・車両購入時の環境影響評価	センター長	—	—		
改排正出フ抑ロ制ン法	6. 空調機の簡易点検	改正フロン排出抑制法に基づき3カ月に1回の簡易点検を実施する	センター長	○	○	点検表に基づき実施している。	継続
		圧縮機の簡易点検	センター長	○	○	点検表に基づき実施している。	継続
一教般育	7. 勉強会	環境・品質・生産性向上(ISO推進会議内で実施 年1回以上) 一般的な環境に対する自覚向上を目指す	センター長		○		継続
環境維持	3Sの徹底	各職場毎に 整理・整頓・清掃を徹底する	センター長	○	○	整理・整頓され維持されている。	継続

※クールビズは毎年5月1日から9月30日まで実施、冬場は重ね着(ウォームビズ)で対応

※活動計画の見直しは、2024年度(令和6年1月～令和6年12月まで)が終了した時点で行う事とする。

6-3. 環境経営活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:2024年1月～2024年12月)

部署名: 技術センター

取組評価基準: ○ できた △ 一部できた × できなかった

環境方針		目標課題	具体的な行動	責任者	評価		コメント	継続/見直
					6月	12月		
二酸化炭素排出量削減	1-1.	電力消費量の削減	・エアコン温度の適正管理(夏季28℃、冬季20℃に設定)	管理部	△	△	・夏季は酷暑が続き設定温度では室温が下がらず変更が必要 (23～25℃と思われる) ・その他は概ね達成された	継続
			(但し設備稼働に影響の及ばない範囲で)					
			・クールビズ、ウォームビズの実施で冷暖房の節減	管理部	○	○		継続
			・空調フィルターの定期清掃 (3カ月毎 4回/年)	管理部	△	△		継続
			・昼休み、不在時の消灯	管理部	△	△		継続
			・不要電力消費抑制(パソコン、機械を止めるなど)	管理部	△	△		継続
	1-2.	ガソリン使用量の削減	・省エネドライブ、不必要なアイドリングの禁止	C C 課	○	○	・燃費管理は日報の記録が乏しく、給油実績のみと成る ・車両点検は、年次点検をディーラーへ委託 ・営業は日帰りで概ね往復400km以上の訪問先で公共交通機関を利用	継続
			・急発進・急加速の禁止	C C 課	○	○		継続
			・車両の燃費管理	C C 課	×	×		継続
			・タイヤ空気圧管理 (給油時に点検)	C C 課	△	△		継続
			・車両点検の実施	C C 課	○	○		継続
			・移動に際し、可能な場合は公共交通機関を利用する	営業課	○	○		継続
廃棄物排出量の削減	2-1.	一般廃棄物の削減	・分別ルールの掲示と周知・実践・置場の整理整頓	管理部	○	○		継続
			・ペットボトル、事務用紙のリサイクル化徹底	管理部	○	○		継続
			・段ボール箱、緩衝材の再利用	管理部	△	△		継続
			□契約書、委託事業者の確認	EA21事務	○	○		継続
	2-2.	産業廃棄物の削減	・廃棄物保管場所の点検				産業に該当する廃棄物は有りません	
			・産業廃棄物の分別保管					
			・個人的なゴミは持ち込まない様に徹底する					
			□産廃マニフェストを適正に管理					
	2-3.	リサイクルの推進	・分別を徹底してリサイクル率を向上する	EA21事務	△	△		継続
			・エコキャップ運動	EA21事務	○	○		継続
水の削減	3.	水使用量の削減	・節水活動の遂行 (節水を促す表示の取付け)	管理部	○	○		継続
			・水を出しっぱなしにしない	管理部	○	○		継続
			・検針表による使用量の把握	管理部	○	○		継続
紙使用量の削減	4.	コピー用紙使用量削減	・裏紙利用、両面コピー、縮小印刷等	管理部	△	△	実施されています 実施されています 実施されています 実施されています	継続
			・会議資料等のペーパーレス化で印刷物の削減	管理部	△	△		継続
			・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する	管理部	○	○		継続
			・FAXの選択印刷等	管理部	○	○		継続
グリーンの推進	5.	環境にやさしい商品の選別購入	・エコマーク商品、FSC認証品の優先的な購入	管理部	○	○	・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、紙タオルはエコマーク商品、名刺、コピー用紙はFSC認定品で調達 ・新規の設備、機器、車両調達は無し	継続
			・設備・機器・車両購入時の環境影響評価					
改排正出フ抑制ン法	6.	空調機の簡易点検	改正フロン排出抑制法に基づき3カ月に1回の簡易点検を実施する				貨貨物件で大家所有の為除外 技術センターには無い	
		圧縮機の簡易点検	改正フロン排出抑制法に基づき3カ月に1回の簡易点検を実施する					
一教般育	7.	勉強会	環境・品質・生産性向上 (ISO推進会議内で実施 年1回以上) 一般的な環境に対する自覚向上を目指す	管理部		○		
環境維持	3Sの徹底	各職場毎に 整理・整頓・清掃を徹底する	管理部	○	○		整理整頓され維持	継続

※クールビズは毎年5月1日から9月30日まで実施、冬場は重ね着 (ウォームビズ) で対応

※活動計画の見直しは、2024年度(令和6年1月～令和6年12月まで) が終了した時点で行う事とする。

7. 環境関連法規等の遵守、違反、訴訟等の有無

7-1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守評価確認日：2025年 2月 20日
評価確認者：環境管理責任者

項	法規制等の名称		該当する要求事項(対応すべき事項)	該当する項目	法規制改正確認日	許可・届出・報告	担当部署	遵守評価	
								確認	評価
1	産業廃棄物処理法	産業廃棄物	・法3条産業廃棄物の適正処理義務 ・法12条、6.2 運搬・処分事業者との二者間契約 (3者契約禁止) ・法12条、規8 ① 保管基準 ― 飛散流出防止対策 ② 保管場所の表示板(60×60cm) 種類・管理者・連絡先・保管可能量	・①搬業者、中間処理業者との文書契約締結 ・②許認可の種類、許可期限の確認	H27.8.10	・契約書/許可証	・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.2.29	○
			①場所の囲い ②表示板の設置	H27.8.10		・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○	
			・①排出場所での発行 ・②管理票(マニフェスト)の回収 ・③管理票保管義務 ・施行規則8.27管理票の交付状況の報告義務			・マニフェスト ・管理表交付等 状況報告書	・品質管理室	排出無し	○
						・品質管理室	期中の排出 無し	○	
		一般廃棄物 (事業系一般廃棄物)	・事業系一般廃棄物の処理 規則1条17、省令で定める再生委託業者の選定 ・分別保管・処理 ・委託業者との契約締結 ・処理券の発行	・各サービスセンターで業者選定 ・各サービスセンターで分別「紙類、カンビン、 ペットボトル、プラスチック、粗大ごみ」 ・①各サービスセンターで契約 ・②各サービスセンターで処理記録保存	H26.8.10		・品質管理室 ・各拠点責任者 ・品質管理室 ・各拠点責任者 ・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25 R6.10.25 R6.10.25	○ ○ ○
							・品質管理室		○
	2	化学物質管理法 (PRTR法)	・(施工別表1)に示す第1種指定物質年1t以上、 特定化学物質0.5t以上	・(施工別表1)			・品質管理室	R7.1.10	○
3	自動車No&P法	・自動車排出窒素酸化物、粒子状物質の抑制 ・保安基準に適合した車両の運行	・点検、整備			・車検、整備記録	・各拠点責任者	R7.1.10	○
4	容器包装リサイクル法	・廃棄物の減量化を図るとともに、資源の有効利用 ・分別	・一般廃棄物(ペットボトル・ガラスビン・缶)	H24.11.15			・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○
5	家電リサイクル法	・特定家庭機器の搬出	・「家電4品目」の排出時適切な排出処理	H26.3.6			・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○
7	小型家電リサイクル法	・使用済み小型家電の回収・リサイクルを推進し、有用金属の再資源化、有害物質の 適正処理、廃棄物の量の削減	・廃棄時に適正に管理・処理	H26.3.6			・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○
8	グリーン購入法	・できる限り事務用品は環境物品等を選択するよう努める	・事務用品				・管理部	R6.5.1	○
9	騒音規制法	特定施設(空気圧縮機)の設置認可書 (変更届け 騒音規正法)	・出力7.5Kw以上のコンプレッサー	H27.8.1		・特定施設設置届出	・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○
10	振動規制法	特定施設(空気圧縮機)の設置認可書 (変更届け 振動規正法)	・出力7.5Kw以上のコンプレッサー	H23.11.28		・特定施設設置届出	・品質管理室 ・各拠点責任者	R6.10.25	○
11	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン 排出抑制法)		3ヵ月に1回以上の管理者自身での点検(簡易点検)義務 7.5kw～50kw未満の空調機器(エアコン)：有資格者による 3年に1回以上の定期点検を実施義務	・東京SC、岩手サービスセンターに 設置の業務用エアコン12機が対象 ・東京SCの4機が対象	R4.4.6	・簡易点検記録表 ・点検整備記録表	・品質管理室 ・各拠点責任者	R7.2.20	○
			機器を破棄する際は、第1種フロン類充填回収業者に依頼して、フロン類を回収した 後、破棄しなければならない。(法41条)その際、フロンの回収、再生、破壊等に必要な 費用を支払わなければならない(法74条)	・東京、岩手サービスセンターに設置の 業務用エアコン12機が対象	R4.4.6	・回収証明書(行程管理票) ・領収書	・品質管理室 ・各拠点責任者	期中の廃棄 無し	○

備考:遵守評価に関しては、各法規制の最新版についても確認いたします。

7-2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

8. 次年度の活動目標 サイト別

2025年度は2023 ～2026年中期活動計画の3年目と成ります

達成状況の判定 : 達成率100% : 100>達成率≤90 : 達成率<90

【東京サービスセンター】

項 目	2022年度 基準	2024年度			2025年度	2026年度
二酸化炭素削減項目		目 標	実 績	実績評価	目 標	目 標
電気使用量 (kWh)	229,545	200,797	195,614		195,983	
二酸化炭素 (kg-CO2)	107,565	94,093	91,665		91,816	
ガソリン使用量 (ℓ)						
二酸化炭素 (kg-CO2)						
廃棄物削減項目						
一般廃棄物 可燃物 (kg)	---	201	207		294	
一般廃棄物 不燃物 (kg)	---	106	192		75	
産業廃棄物 (t)	6	6	0		6	
水資源の削減						
総排水量 (㎡)	---	222	205		222	
紙消費量の削減						
コピー用紙購入量 (枚)	---	16,167	5,000		17,159	
グリーン購入						
環境配慮製品の購入	目標を定めずグリーン購入の推進継続 ⇒ ⇒					

【技術センター】

項 目	2022年度 基準	2024年度			2025年度	2026年度
二酸化炭素削減項目		目 標	実 績	実績評価	目 標	目 標
電気使用量 (kWh)	12,189	13,664	12,683		12,704	
二酸化炭素 (kg-CO2)	5,712	6,403	5,943		5,953	
ガソリン使用量 (ℓ)	2,321	2,078	1,443		1,900	
二酸化炭素 (kg-CO2)	5,385	4,821	3,347		4,408	
廃棄物削減項目						
一般廃棄物 可燃物 (kg)	---	183	179		254	
一般廃棄物 不燃物 (kg)	---	60	113		37	
産業廃棄物 (t)						
水資源の削減						
総排水量 (㎡)	---	62	55		60	
紙消費量の削減						
コピー用紙購入量 (枚)	---	24,250	10,000		15,321	
グリーン購入						
環境配慮製品の購入	目標を定めずグリーン購入の推進継続 ⇒ ⇒					

【岩手サービスセンター】

項 目	2022年度 基準	2024年度			2025年度	2026年度
二酸化炭素削減項目		目 標	実 績	実績評価	目 標	目 標
電気使用量 (kWh)	58,546	52,539	54,078		54,798	
二酸化炭素 (kg-CO2)	27,435	24,620	25,341		25,679	
ガソリン使用量 (ℓ)	279	184	253		333	
二酸化炭素 (kg-CO2)	648	427	587		773	
廃棄物削減項目						
一般廃棄物 可燃物 (kg)	---	218	30		43	
一般廃棄物 不燃物 (kg)	---	4	4		6	
産業廃棄物 (t)						
水資源の削減						
総排水量 (㎡)	---	11	8		10	
紙消費量の削減						
コピー用紙購入量 (枚)	---	8,083	12,500		15,321	
グリーン購入						
環境配慮製品の購入	目標を定めずグリーン購入の推進継続 ⇒ ⇒					

9. 代表者による全体評価と見直し・指示結果

2025年3月26日、代表者による全体評価と見直しを行いました。
結果を以下の通り報告致します。

8-1. 環境管理責任者の報告

- ① 実施期間 2024年1月1日～2024年12月31日
- ② 環境経営計画に基づき予定通り実施、計画からの著しい未達成は無く是正指示は無し
- ③ 環境関連法規等の遵守状況 当該法令は遵守している
- ④ 外部からの環境に関する苦情や要望及びその対応結果 **発生なし**
- ⑤ 環境異常、緊急事態の発生状況及びその対応結果 **発生なし**
- ⑥ 前回指摘の改善事項 A-1 A-2 への取組 **指摘への一部取組を実施**
- ⑦ 環境活動計画の取組結果（全体）

取 組	単 位	目 標	実 績	コ メ ン ト	評 価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	130,364	126,883	目標を達成する事が出来ました	○
電力使用量の削減	kwh	267,000	262,375	目標を達成する事が出来ました	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	2,262	1,696	目標を達成する事が出来ました	◎
一般廃棄物（可燃）廃棄量の監視	kg	602	416.0	目標を達成する事が出来ました	◎
一般廃棄物（不燃）廃棄量の監視	kg	170	309.0	混合産廃を分別した事で不燃ごみが増えた	×
産業廃棄物排出量の監視	t	6	0.0	治具受注低迷と分別徹底により産廃での排出に至らなかった	◎
水使用量の監視	m ³	295	268	期中に退職者が出た事で使用量が減ったと思われる	○
紙の消費量 (コピー用紙使用量)の削減	枚	48,500	27,500	電子化に因る削減と顧客要求に伴う書面提出での増加と2分された	◎
グリーン購入	---	---	---	優先的に購入して実施していきます	○

評価方法
判断基準 ◎ 十分出来た ○ おおむね取組めた △ さらなる取組が必要 × 出来なかった

8-2. 代表者の見直し

項目	見直し有無	指示事項等
① 環境経営方針	無し	継続実施
② 環境経営目標・計画	無し	継続実施 ※動向を注視し、必要に応じて基準の見直しを検討する
③ 環境経営計画・取組項目	有り	次年度以降も試行錯誤を図り効果的な施策を実施する。また、SDGsの取組を明確にし環境意識の向上を図りましょう。
④ 実施体制	無し	活動の見える化と全員参加の活動を推進すること
⑤ その他	無し	特になし

8-3. 全体評価コメント

CO2排出量削減に向けた当社の課題は、電気・ガソリン使用量の削減と認識しておりますが、コロナ過収束後の2023～2024年は全体として売上減が継続しており、更に2023年8月の新潟SC閉鎖に伴い目標値の修正などおこないましたが概ね目標を達成出来ました。今後、受注回復により、設備や空調機器の稼働の上昇に伴い電力消費が増えて達成困難な状況も予見されます。業績悪化で老朽化設備の更新など設備投資等を控えており削減に向けての対策が後手に成っておりますので来期は受注回復に向けて導入の検討を行います。その他目標は社員の環境活動への意識改善の余地がまだ有る処ですが、僅かずつながら取組効果は表れて来ているので今後も取組を強化し、目標達成に向けて取組んでください。

8-4. 経営上の課題とチャンス

課題（外部要因）	課題（内部要因）
・一般基板市場が停滞する中で 半導体、AI、EV用途基板が旺盛で有る ・米国トランプ関税の動向	・設備の老朽化 ・作業場面積の不足 ・社員の高齢化 / 人材難 ・必要な技術の継承
チャンス（外部要因）	チャンス（内部要因）
基板製造業界が低迷した事で同業が減っており ファインピッチ対応設備へ更新などでニッチ部分 への営業強化が期待できる	・半導体チェッカー用など 大判基板に対応する設備の保有 ・自社による治具作製が可能 ・改良・改善で基板検査に活用できる技術を持つ